

## 静岡の食テーマ ビジネスプラン

### 静岡文化芸術大

静岡文化芸術大がトルコ・イズミル経済大と地域企業の協力で開催する「産学共同国際デザインワークショップ」のプレゼンテーションが6日、浜松市中区の静岡文化芸術大で開かれた。両大の学生21人が「富士山静岡空港における静岡の食プロモーション」をテーマに考案したビジネスプランやデザインを英語で発表した。

プレゼンに臨んだのは8月31日から7日間の日程でワークショップに取り組んできたデザイン学部や文化政策学部の学生。両大の学生を混成した4グループを編成し、富士山静岡空港の見学や下田市内の食文化体験などの調査を実施した。スズキや東芝などのデザイナーのアドバイスを受けながら準備も英語で進めてきた。

静岡空港で富士山を見て静岡の地場産品を味わう「FUJIMIプロジェクト」を発表したグループは、県内各地の地場産品を楽しめる屋台の設置を提案した。富士山が眺められるポイントまで導く移動手段として茶葉をモチーフにデザインした乗り物も示した。

ワークショップは国際的で実践的な人材の教育を目指して2014年に始まり、ことで5回目。